

特定非営利活動法人 きらり・つくみ [大分県推薦] (大分県津久見市)

代表者名：小手川 和彦 団体構成員数：12名

きらり・つくみは、平成15年に活動を開始し、津久見港の沖合約16kmの豊後水道に浮かぶ自然豊かな無垢島で、自然体験学習会に取り組んできました。活動を通じ、子供たちの大きな夢、自由な発想、豊かな心を育てており、参加者の中には、自然科学の道に進む者、環境問題に興味を示す者も増えています。また、島民との交流により、地域の活性化にも繋がっています。

活動の原点は、映画館のない町で、感動と話題を提供し、観る者の心を豊かにしようと取り組んだ上映会です。第一作目が平成15年8月に上映された「チルソクの夏」であり、以来、平成28年12月の「ふたりの桃源郷」まで、12回の上映会を開催しています。

自然体験学習会は、地域住民や、九州の教育系大学（鹿児島大学・熊本大学・九州大学・福岡教育大学・大分大学）のほか東京学芸大学・一橋大学など、10大学の教官の参加と協力のもとに、小中高生・大学生・一般人を受入れ、生物学・地質学・天文学・環境学等について学ぶものです。平成15年8月の第1回以来、毎年開催しており、平成29年8月で12回目を迎えました。

この他、有識者の講演会（つくみ市民セミナー）や健康増進・親睦・観光PR（山桜）を目的とした「青江ダム駅伝大会」を主催しています。



自然体験学習会



清掃活動の様子



化石調査の様子

■選考委員のコメント

きらり・つくみの自然体験学習会では、地元の小中高校生に加え、教育系大学の教員や学生が加わり、生物、地質、天文、環境、遊びを学ぶプログラムを実施しています。学問への興味を高めたり、地域との交流を盛んにしたりするなど、参加者に大きな効果をもたらしています。多くの人を巻き込んだ活動は評価できます。

[受賞者からのひと言]

今回の思いがけない受賞を励みに盛り上げていきたいと決意しています。

活動が平成15年に始まり構成員の高齢化もあって悩んだ時期もありましたが、活動を快く受け入れてくださる離島の住民の方々や、支えてくださる大学の

先生方に感謝しながら踏ん張っていきたいと考えています。

自然体験学習会の小中学生支援で参加している成果も生まれています。

これからも息の長い取り組みにしていきたいと願っています。



表彰状の授与